

2. 観光入込客統計調査の結果

(1) 平成26年の延観光入込客数

平成26年の延観光入込客数は、景況感の改善や円安による国内旅行回帰等を背景に観光需要が回復し、前年より110万1,700人（+2.4%）増加し、46,328,600人であった。

とりわけ、平成26年1月19日から12月28日まで大河ドラマに関連して開催された黒田官兵衛博覧会の影響もあり、近隣の観光施設には好影響が見られた。

宿泊者数については、宿泊滞在型観光推進事業など夜間開催イベントや外国人観光客の来県好調、京都や大阪目的の観光客の流れを本県に取り込めたことなどが主な要因で、過去10年間で最高を記録した。

地域別では、全ての地域で増加した。季節的には、夏（6～8月）は前線や台風、湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かったため減少したが、その他の季節は増加した。

本県を訪れた外国人延観光入込客数については、円安による割安感、近年の査証緩和措置、LCC（格安航空会社）による航空路線の拡大などの効果により、平成25年と比較して44.2%の大幅増加となった。

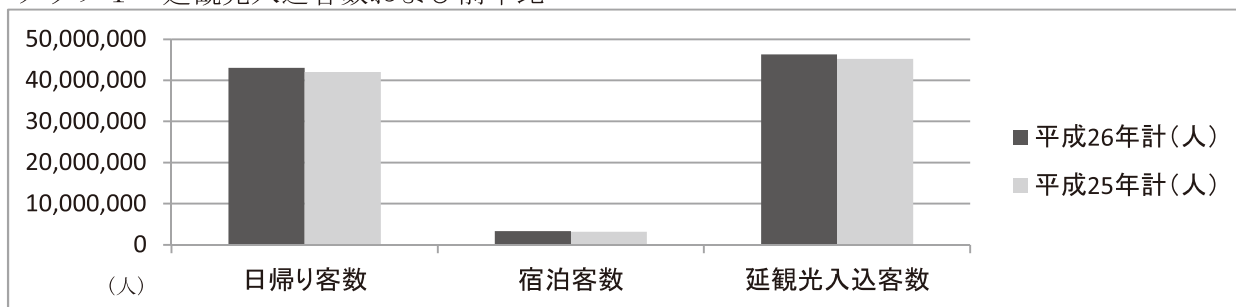
表1 延観光入込客数および前年比

	平成26年計（人）	平成25年計（人）	平成26年－平成25年（人）	前年比
日帰り客数	43,002,300	42,020,300	982,000	2.3%
宿泊客数	3,326,300	3,206,600	119,700	3.7%
延観光入込客数	46,328,600	45,226,900	1,101,700	2.4%

外国人延観光入込客数および前年比

	平成26年計（人）	平成25年計（人）	平成26年－平成25年（人）	前年比
日帰り客数	101,964	77,537	24,427	31.5%
宿泊客数	180,976	118,678	62,298	52.5%
延観光入込客数	282,940	196,215	86,725	44.2%

グラフ1 延観光入込客数および前年比



外国人延観光入込客数および前年比

